

令和8年度2学期始業式 校長式辞

本日から2学期が始まりますが、まずはこの夏、熊本県での大地震、また、千葉県では記録的な豪雨によって亡くなられた方々に、心から哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りします。また、被災された皆さんが一日も早く平穏な生活を取り戻されることを願っています。

災害というのは、いつ起こるか分かりません。昨日まで当たり前だった日常が、一瞬にして変わってしまいます。だからこそ、私たちは「今日」という時間を大切にしなければならないのだと思います。

さて、今日から2学期です。1年生の皆さん。入学してから、まだ4か月ほどですが、学校に慣れ少しずつ「尼北の生徒」になってきたのではないかと思います。2学期からは、「自分なら何ができるだろう」と考え行動して欲しいと思います。

2年生の皆さん。これからの尼北を中心になって支えていくのは、皆さんです。これまでは3年生の背中を見てきたと思います。しかし、これからは皆さんが後輩から見られる立場になり、皆さんの姿が学校の雰囲気をつくります。責任を果たす人であって欲しいと願っています。

そして、3年生。いよいよ進路を決める大切な時期に入り、ここからの一日、一時間が、皆さんの進路を変えるかもしれません。ただし、「安易に進路を決めない」ということです。皆さんに考えてほしいのは、「10年後、自分はどんな人間になっていたのか」ということです。

大学に進学し、卒業して、就職する。その先には、皆さんが、今はまだ想像できない長い人生があります。そのとき、「あのとき、もっと考えて進路を選べばよかった」と思っほしくありません。だから、目の前の合格だけを見て進路を決めるのではなく、「自分は何を大切に生きていきたいのか」を考え、自分が納得できる選択をすることです。

それぞれの学年に、それぞれの2学期があります。長いようで、終わってみればあっという間の2学期です。どうか一日一日を大切にしてください。

皆さんの活躍を、心から願ってあいさつとします。